

令和元年度（2019 年度）第 1 回南区まちづくり懇話会 会議録

- 1 日時 令和元年（2019 年）6 月 7 日（金）午後 1 時～5 時まで
- 2 場所 南区役所 3 階大会議室/南区内一円（南区内視察時）/川尻公会堂（視察振り返り時）
- 3 出席者
 - (1) 出席委員
前出委員、榊田委員、吉本委員、山室委員、平井委員（副会長）、村山委員、正木委員、島田委員、永井委員、村田委員、堀川委員、栗田委員、柴田委員（会長）、北岡委員、宮崎委員
 - (2) 出席職員
区長、区民部長、保健福祉部長、総務企画課長、総務企画副課長
- 4 配布資料
 - (1) 会議次第
 - (2) 第 4 期「南区まちづくり懇話会」委員一覧
 - (3) 南区まちづくり懇話会概要
 - (4) 熊本市南区まちづくり懇話会設置要綱
 - (5) 令和元年度（2019 年度）南区まちづくり推進経費一覧
 - (6) 令和元年度（2019 年度）南区復興支援自治推進経費一覧
 - (7) 平成 30 年度南区まちづくり推進事業
 - (8) 視察先概要
- 5 内容
 - (1) 開会
 - (2) 委嘱状交付
 - (3) 区長挨拶
 - (4) 委員紹介・職員紹介
 - (5) 懇話会・南区まちづくりビジョンについて
 - (6) 会長・副会長選出
 - (7) 南区まちづくり推進事業・復興支援自治推進事業について
 - (8) 南区内視察
 - (9) 視察振り返り
 - (10) その他
 - (11) 閉会

6 議事録

(1) 区長挨拶（代理）

保健福祉部長 皆様にはこの度の「南区まちづくり懇話会」委員へのご就任を快くご承諾いただき感謝している。

南区は、緑川・加勢川、雁回山などの豊かな自然と、全国屈指の生産量を誇るトマトやナスなどの農産物、アサリや海苔などの漁業資源などに恵まれ、さらには川尻の御蔵や木原不動尊、六殿神社、塚原古墳などの史跡も多く、歴史・文化的資源は南区の大きな魅力である。また、飽田・天明・富合・城南の合併町を含んでおり、新旧ともに地域のつながり・結びつきが強い地域である。

このような地域の魅力・特性を最大限に活かし、「南区まちづくりビジョン」に掲げる、“いきいき暮らしのまち南区”の実現に向けて、南区のまちづくりや地域の課題解決に取り組んでいるところである。

また、熊本地震から三年と二か月を迎え、南区では被災された方々の生活再建を最優先に取り組んでいるところである。本年は災害公営住宅の入居が始まり、城南の塚原を皮切りに四月には舞原災害公営住宅の落成式が挙行され、また、白藤の災害公営住宅も本年中には入居できる状況。

このように恒久的な住まい再建がなされる一方で、今もなお仮設住宅等で不自由な生活を余儀なくされている方々もいる。南区では「復興するまち」を重点目標とし、被災者一人ひとりに寄り添った支援を行うとともに、熊本地震の経験・教訓を踏まえた防災・減災のまちづくりをより一層進めていく。また、本年は、ラグビーワールドカップや女子ハンドボール世界選手権の開催などスポーツにおいても注目されているところ。特に女子ハンドボールは、アクアドームでの試合もあり、南区での応援体制をつくり、盛り上げていくこととしている。ぜひ皆様にも応援と合わせて、観戦いただけたらと思う。

(2) 懇話会・南区まちづくりビジョンについて

事務局 南区まちづくり懇話会の概要について説明する。

（資料「南区まちづくり懇話会概要」に沿って説明）

「熊本市南区まちづくり懇話会設置要綱（以下、「要綱」）」では設置の目的、組織や会議等を規定している。要綱の第7条には会議について記載があり、従来であれば会長が議長となり進行することになるが、第1回のた

め、会長が選出されるまでは、事務局により、議事の進行を行う。
なお、本日の懇話会会議は、15名の委員が出席していることから、要綱第7条第2項により、会議が成立していることを報告する。
また、本会議は要綱第8条により公開を原則としており、会議の結果として、要約した会議録をホームページ上で公表することも、併せて承知いただきたい。

(3) 会長・副会長選出

- 事務局 次に、会長及び副会長の選出に入りたい。
会長、副会長は要綱第6条第2項により、委員の皆様の互選による選出となる。
まず、会長の選出を行う。どなたかご推薦いただけないか。
- 前出委員 会長は、第3期の会長で、学識経験者である熊本県立大学の柴田委員にお願いしたい。
- 事務局 ただいま前出委員から柴田委員を会長にとのご推薦をいただいたが、皆様いかがか。
- <他の推薦なし>
- 事務局 それでは柴田委員を会長ということでよろしいか。承認していただける場合は拍手をお願いしたい。
- <柴田会長選出>
- 事務局 次に、副会長の選出をお願いしたい。
- 柴田会長 副会長は、三期から委員を務めていらっしゃる平井委員にお願いしたい。
- 事務局 柴田会長から平井委員を副会長にとのご推薦だが、承認していただける場合は、拍手をお願いしたい。
- <平井副会長選出>

(4) 南区まちづくり推進事業・復興支援自治推進事業について

事務局 では、会長は議長として議事の進行をお願いしたい。

柴田会長 初めてご出席の方は、まちづくり懇話会とは何をする場なのだろうと不安に思いながら来られているのかなと思う。徐々に慣れていただきながら、皆様のこれまでの経験を踏まえた意見をいただければと思っているが、堅苦しくなく進めていきたい。

それでは、南区まちづくり推進事業・復興支援自治推進事業について、事務局から説明をお願いしたい。

事務局 （資料「令和元年度（2019 年度）南区まちづくり推進経費一覧」、「令和元年度（2019 年度）南区復興支援自治推進経費一覧」、「平成 30 年度南区まちづくり推進事業」に沿って説明）

(5) 南区内視察

柴田会長 それでは、次に、本日は第 1 回目の懇話会ということで、委員の皆様は南区のことを知っていただいた上で、南区のまちづくりについてご意見をいただければと思う。いまから南区内の視察を行いたい。

（柴田会長、前出委員、山室委員、正木委員は所用のためここで退席）

＜南区内視察＞（資料「視察先概要」参照）

(6) 視察振り返り

事務局 皆様にはお疲れのところ、早速ではあるが、本日の視察の感想について一言ずつお話いただければと思う。

平井副会長 南区にはたくさんの魅力ある場所があるので、他にも見たいと思えるところがあった。

宮崎委員 中無田閘門は看板や休憩所、トイレなどもあり、観光資源として充実していると感じた。平井戸水源も湧き水が流れていて、池の中には鯉なども泳いでおり、資源としてはいいものがあるが、この水源がある土鹿野地区は人口が 50 世帯から 25 世帯に半減している。今後住民の方がこの資源をどう生かして

いきたいのか、いろいろ考えていかなければならないと思った。南区にはこのような隠れた地域資源がいろいろとあると思うので、それを発掘して行政とつなげていければと思う。

吉本委員 城南地区を車で通っているときに、地震の影響なのか、車が揺れるほど道が傷んでいるなど感じた。初めて行ったところがほとんどだったが、川尻の船着場と中無田閘門はよくできているなど感動した。

北岡委員 南区に住んでいながら、今日行ったところは初めて見た。中無田閘門は魚釣りに行っているわりには 1 回も行ったことはなく、平井戸水源は少し寂れているなど感じた。川尻公会堂もせっかくある立派な施設なので、町内会や何かの行事の際に利用されたらどうかと感じた。

村山委員 南区に住んでいながら、知らないところがたくさんあるなど感じた。六殿神社には竹林があったが、竹の活用はやり方によっては利益を生む良い資源になるのではないかと考えた。

堀川委員 懇話会の中でいろいろと勉強して、子供たちに南区の魅力ある資源を伝えられたらと思った。今日の視察を通して、子育てサークルの活動などを川尻公会堂で行ってみたいと考えている。

栗田委員 初めていくところも多かったが、観光地にするにはまだ何か足りないような感じがした。魅力がたくさんあると思うので、皆さんといろんな意見を出し合って少しでも活性化できればと思った。

榊田委員 平井戸水源に行ったが、そのほかにも過疎化が進んでいる地域があるのでないかと感じた。また災害公営住宅にも行ったが、震災後まだまだ皆さん苦労されているなど感じた。

私は中無田閘門のプレイパークにはメンバーの一人として携わっている。5 月と 8 月のイベント開催時には子供たちが 200 人ほど来て、プールやボート遊びをしてにぎわっているが、まだまだ PR が不足しているのではないかと感じた。

川尻公会堂は初めて来たが、こんなにも立派な建物があつたとは知らなかった。川尻という古い町は改めていいなと思った。

村田委員 中無田閘門では水量の調整の実演をやってもらい、大変感激した。

島田委員 今日は有意義な時間を過ごすことができた。まだ学習段階の途中で上手く発言ができないが、徐々にいろんなことを吸収して発信していければと思う。

永井委員 今までの仕事で啓発活動や地域づくり等に関わってきた。ワークショップやイベントごとをしてもなかなか人が集まらない。いかに関心を持たせるかが一番のポイントになるのかなと思っている。
今日行ったところは平井戸水源以外行ったことがあったが、まだまだ地域資源としてPRが足りてないのではないかなと思う。やはりいかに地域住民の関心を底上げするのがポイントになってくるのかなと考えている。

事務局 今日行ったところはごく一部であり、まだまだ南区には宝物がたくさんある。文化遺産以外にも地域を活性化させる子供たちの存在や食文化などいろいろと南区で発見していけたらと思う。

(7) その他

事務局 今回は世代間交流とまちづくりの担い手育成を目的として、南区の将来を担う中学生を交えたワークショップを行う。
詳細は、別途文書にてお知らせする。